

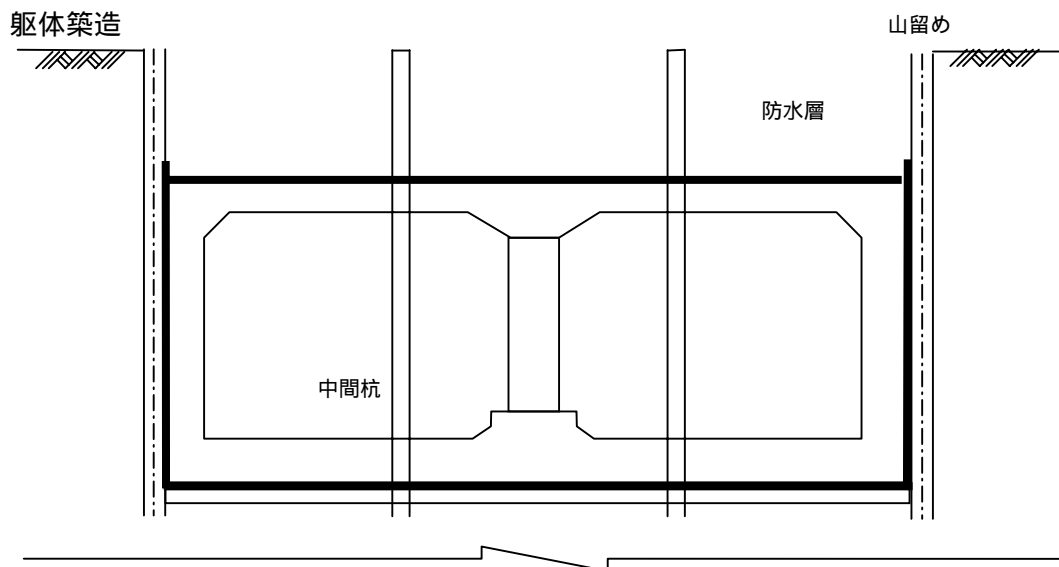
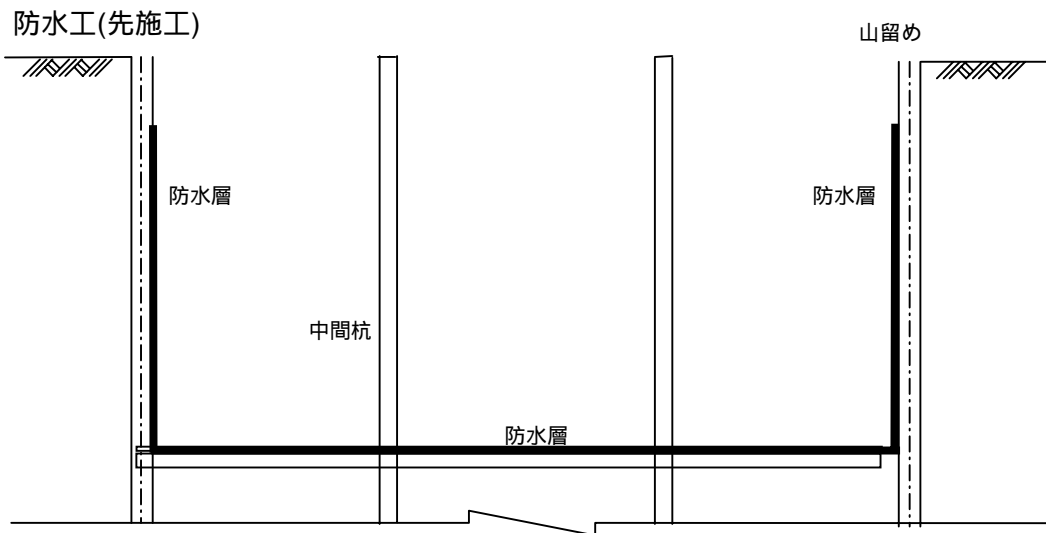
防水先施工と後施工

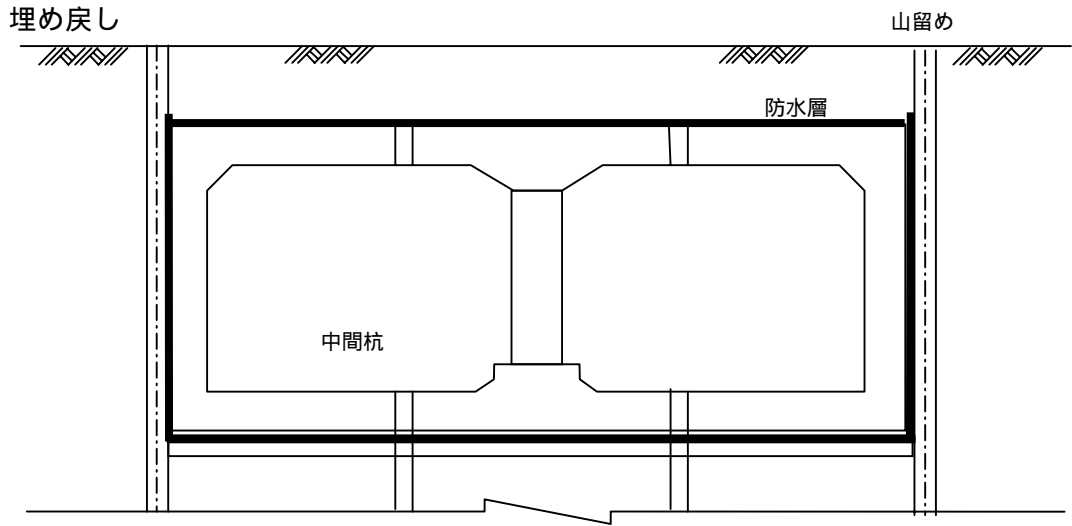
先施工（先やり）

掘削後、山留め側に防水を施しその後に躯体を構築する方法で、敷地の無い繁华街や、都市部でほとんどがこの工法となっています。

従来は、山留め側に新たにコンパネや中詰モルタルなどの下地を設け、シート系の防水を行っていました。

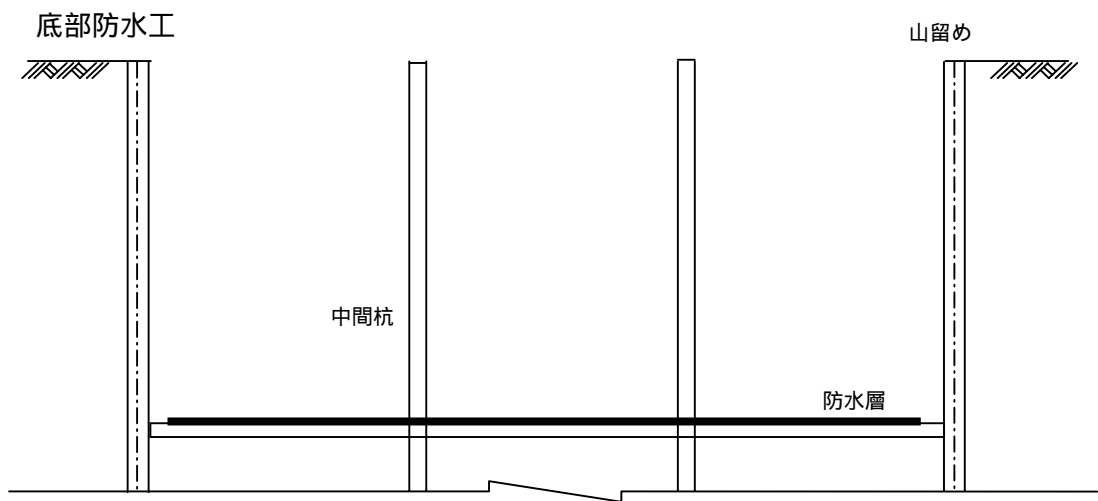
現在では、山留めに直接施工するシート系の材料や、不織布を張付け吹付け材により防水する方法が多く採用されています。



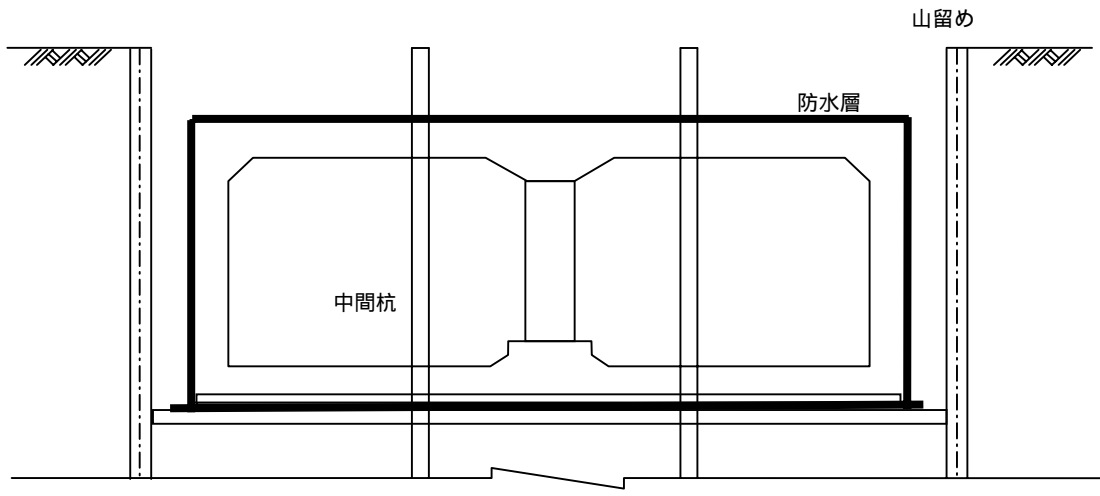


後施工（後やり）

先施工より掘削幅を多く取り、躯体を構築した後、躯体に直接防水を行う方法です。
先施工より掘削土量が多くなるため、敷地を多く取れる場所などで使用されています。



躯体築造(側部・頂部防水)



埋め戻し

